

認 定 書

国 住 指 第 2900 号
平成 26 年 12 月 4 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 日比 祐市 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0819
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（準不燃材料）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（準不燃材料）

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	3.5 \pm 0.35以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	555.0 \pm 55.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材	<p>塩化ビニル系樹脂壁紙 …厚さ3.5\pm0.35mm以下 質量555.0\pm55.5g/m²以下(有機質量190.0\pm19.0g/m²以下) 構成：</p> <p>[1]化粧：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする …質量30.0\pm3.0g/m²(固形量)以下(有機質量10.0\pm1.0g/m²以下) (1)合成樹脂：質量30.0\pm3.0g/m²(固形量)以下(有機質量10.0\pm1.0g/m²以下) 構成(g/m²)</p> <p> { 合成樹脂^{※1}…………… 10.0\pm1.0以下 (但し、ポリエステル系は9.0以下とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……0～20.0\pm2.0</p> <p>(2)なし</p> <p>[2]主素材：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)塩化ビニル系樹脂 ([1]化粧が(2)の場合に限る) …厚さ2.8\pm0.28mm以下 質量385.0\pm38.5g/m²以下^{※3} (有機質量125.0\pm12.5g/m²以下^{※4}) 構成(g/m²)^{※3}</p> <p> { 塩化ビニル樹脂 …… 93.3\pm9.3以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0～6.7\pm0.7含む) 可塑剤^{※6}・減粘剤(カルボン酸エステル系) …… 44.8\pm4.5以下 (但し、減粘剤は0～6.7\pm0.7の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……7.7\pm0.8以上 有機質系発泡剤(アジジカルアミド系、オキシスチレンポリブタジド) ……………0～4.1\pm0.4 有機質系安定剤(亜鉛系化合物) …… 3.1\pm0.3以下 有機質系顔料^{※7} ……0～2.7\pm0.3 添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～2.0\pm0.2</p>

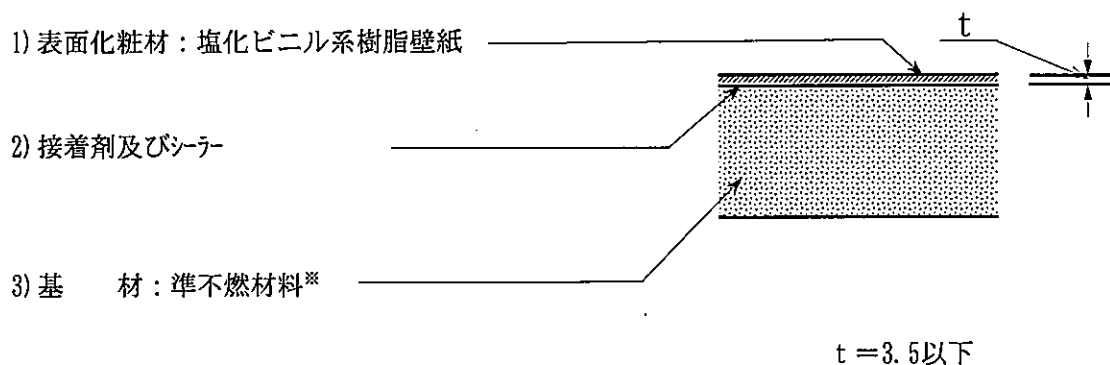
項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(2) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ$2.8_{\pm 0.28}$mm以下 質量$375.0_{\pm 37.5}$g/m²以下^{※3} (有機質量$115.0_{\pm 11.5}$g/m²以下^{※4}) 構成 (g/m²) ^{※3}</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩化ビニル樹脂 …… $85.8_{\pm 8.6}$以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0～$6.2_{\pm 0.6}$含む) 可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… $41.2_{\pm 4.1}$以下 (但し、減粘剤は0～$6.2_{\pm 0.6}$の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……$7.1_{\pm 0.7}$以上 有機質系発泡剤 (アジカルホナムド系、ポリスポンセルニトリラジド) ……0～$3.7_{\pm 0.4}$ 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… $2.8_{\pm 0.3}$以下 有機質系顔料^{※7} ……0～$2.5_{\pm 0.2}$ 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～$1.9_{\pm 0.2}$
	<p>(3) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ$2.8_{\pm 0.28}$mm以下 質量$365.0_{\pm 36.5}$g/m²以下^{※3} (有機質量$105.0_{\pm 10.5}$g/m²以下^{※4}) 構成 (g/m²) ^{※3}</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩化ビニル樹脂 …… $78.4_{\pm 7.8}$以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0～$5.6_{\pm 0.6}$含む) 可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… $37.6_{\pm 3.8}$以下 (但し、減粘剤は0～$5.6_{\pm 0.6}$の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……$6.5_{\pm 0.6}$以上 有機質系発泡剤 (アジカルホナムド系、ポリスポンセルニトリラジド) ……0～$3.4_{\pm 0.3}$ 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… $2.6_{\pm 0.3}$以下 有機質系顔料^{※7} ……0～$2.3_{\pm 0.2}$ 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～$1.7_{\pm 0.2}$
	<p>(4) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ$2.8_{\pm 0.28}$mm以下 質量$355.0_{\pm 35.5}$g/m²以下^{※3} (有機質量$95.0_{\pm 9.5}$g/m²以下^{※4}) 構成 (g/m²) ^{※3}</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩化ビニル樹脂 …… $70.9_{\pm 7.1}$以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0～$5.1_{\pm 0.5}$含む) 可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… $34.0_{\pm 3.4}$以下 (但し、減粘剤は0～$5.1_{\pm 0.5}$の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……$5.9_{\pm 0.6}$以上 有機質系発泡剤 (アジカルホナムド系、ポリスポンセルニトリラジド) ……0～$3.1_{\pm 0.3}$ 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… $2.3_{\pm 0.2}$以下 有機質系顔料^{※7} ……0～$2.1_{\pm 0.2}$ 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～$1.5_{\pm 0.2}$

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{※8}：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙：</p> <p>…厚さ0.5 ± 0.05mm以下</p> <p>質量150.0 ± 15.0g/m²以下(有機質量65.0 ± 6.5g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>① 有機繊維^{※9} …65.0 ± 6.5g/m²以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}15.6 ± 1.56以下とし、かつ有機質量を52.0 ± 5.2以下とする。)</p> <p>② 合成樹脂^{※1} …8.8 ± 0.88以下 有機繊維^{※9} …46.0 ± 4.6以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を47.0 ± 4.7以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※10}は1.0 ± 0.1～16.6 ± 1.66とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>① 無機質系充てん材^{※2} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$</p> <p>② なし</p> <p>(2) 裏打紙：</p> <p>([2]主素材が(2)で且つ[1]化粧が(2)の場合、又は[2]主素材が(3)若しくは(4)の場合に限る)</p> <p>…厚さ0.5 ± 0.05mm以下</p> <p>質量150.0 ± 15.0g/m²以下(有機質量75.0 ± 7.5g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>① 有機繊維^{※9} …75.0 ± 7.5以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}18.0 ± 1.80以下とし、かつ有機質量を60 ± 6.0以下とする。)</p> <p>② 合成樹脂^{※1} …10.1 ± 1.01以下 有機繊維^{※9} …53.0 ± 5.3以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を54.0 ± 5.4以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※10}は1.0 ± 0.1～19.2 ± 1.92とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>① 無機質系充てん材^{※2} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$</p> <p>② なし</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3) 裏打紙： ([2] 主素材が (3) で且つ [1] 化粧が (2) の場合、又は [2] 主素材が (4) の場合に限る) …厚さ $0.5_{\pm 0.05}$mm 以下 質量 $150.0_{\pm 15.0}$g/m² 以下 (有機質量 $85.0_{\pm 8.5}$ 以下) 構成 (g/m²) : 1) 又は 1) と 2) を組合せた仕様とする 1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする ①有機繊維^{※9} …$85.0_{\pm 8.5}$ 以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10} $20.4_{\pm 2.04}$ 以下とし、かつ有機質量を $68.0_{\pm 6.8}$ 以下とする。) ②合成樹脂^{※1} …$11.6_{\pm 1.16}$ 以下 有機繊維^{※9} …$61.0_{\pm 6.1}$ 以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を $62.0_{\pm 6.2}$ 以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※10}は $1.0_{\pm 0.1}$ ~ $22.2_{\pm 2.22}$ とする。) 2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする ①無機質系充てん材^{※2} …$0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p> <p>※1: 合成樹脂は、エチン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。 ※2: 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、金属粉 (アルミニウム)、鋳物粒及び鋳物粉、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。 ※3: 質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合質量及び配合組成とする。 ※4: 有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。 ※5: 合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、エポキシ系、酢酸ビニル系、エチン・グリコールのいずれか、又は組合せとする。 ※6: 可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメチル酸系のいずれか、又は組合せとする。 ※7: 有機質系顔料は、アゾ系顔料、ファロン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。 ※8: 裏打材は、紙、無機質紙、不織布 (non woven paper) のいずれかとする。 ※9: 有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※10}のいずれか、又は組合せとする。 ※10: 合成樹脂系繊維は、ナイロン、アラミド、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]でん粉系接着剤 …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>でん粉のみ ……$80_{\pm 2}$以上</p> <p>補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下</p> <p>(又は補強剤なし)</p> </div> </div> </div> </div> <p>[2]シーラー：合成樹脂^{※12} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>2) …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]メチルセルロース系接着剤 …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>メチルセルロース ……$80_{\pm 2}$以上</p> <p>補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下</p> <p>(又は補強剤なし)</p> </div> </div> </div> </div> <p>[2]シーラー：合成樹脂^{※12} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>※11：補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12：合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料</p> <p>平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

4. 構造説明図(寸法単位：mm)



※平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの